



～ 動物医療に真剣に取り組む会社 ～

JARMeCグループとは

- **Japan Animal Referral Medical Center**
 - ・犬・猫向けの高度医療(二次診療)を行う動物病院事業を行うグループ
 - ・上記英語の頭文字をとって「JARMeC」
 - ・拠点は川崎、名古屋、東京の3つ。かかりつけ動物病院様と連携して、患者動物飼い主様のニーズに応える充実した動物医療体制を実現
- **設立理念**
 - ・動物医療業界において、①人材教育、②臨床研究、③高度医療の3つの取り組みにより広く社会に貢献すること
- **関連会社キャミック**
 - ・MRI・CT等の高度医療機器を用いた動物画像診断センター(東京3・埼玉1の4拠点)

市場動向と成長戦略

- **ペット市場、動物医療業界、ペット保険**
 - ・日本フードサービス協会の調査「生活に喜びを与えるもの」は、犬飼育者の80.9%は犬(家族に次ぐ2番)で、猫飼育者の81.2%は猫(1番)
 - ・1世帯当たりの動物病院代の年間支出額は、2005年比で約1.56倍に拡大
 - ・ペット保険の普及率は8.0%(2017年)に留まっており、将来的に更なる普及が見込まれる
- **JARMeCの成長戦略**
 1. 拠点の拡大
 2. 対外活動の強化
 3. 人材確保
 4. 新規事業の拡大継続
- **かかりつけ病院様の「安心」、患者動物・飼い主様の「期待」、皆が「満足」できる医療を目指す**

特長・強み

- **人医療と同様の高度な医療機器を備える**
 - ・電子カルテ、画像データ(MRI・CT等)解析の大型精密機器や病理・血液検査センター
 - ・特殊、高難易度の手術ができる「陽圧手術室」
 - ・副作用の少ない治療法ができる「免疫療法室」
 - ・放射線治療装置(リニアック)
- **連携病院数は3,455病院(2018年11月末)**
 - ・北海道から九州まで全国の病院と連携
 - ・将来は拠点を増やして10,000病院を目指す
- **1年で4,890件の診療実績(～2018年3月末)**
 - ・消化器・泌尿器科(31.1%)、脳神経科・整形外科(26.2%)、腫瘍科(26.0%)、循環器・呼吸器科(13.6%)、眼科(3.0%)
- **直近の年間総診療件数は、20,000件超**

業績・トピックスほか

- **2019年3月期 第2四半期決算**
 - 診療件数、手術件数は堅調に推移し、
 - ・売上高は11.1%の増収
 - ・営業利益は6.8%、経常利益は21.0%の増益
- **2019年3月期 業績予想**
 - ・売上高 : 2,560億円(2Q進捗率48.7%)
 - ・営業利益 : 350億円(同上51.2%)
 - ・経常利益 : 350億円(同上51.7%)
 - ・当期純利益 : 285億円(同上51.7%)
- **トピックス(学術活動の成果など)**
 - ・関東・東京合同地区獣医師大会にて、学会長賞・奨励賞を6年連続受賞
 - ・2009年3月31日、民間初の「小動物臨床研修診療施設」として農林水産大臣指定